

【どのタイプに多くチェックが付きましたか？】

チェックが多くついたタイプは、次のような特徴があると言われています。

*あくまでも参考です。

タイプ A→視覚型 目で見て情報を理解したり覚えたりするのが得意 支援方法例 ☐ 簡単な言葉で簡潔に、ゆっくり、はっきり伝える。 ☐ 絵や図、見本を示して伝える。 ☐ 手本を見せる。	タイプ B→聴覚型 耳で聞いて情報を理解したり覚えたりするのが得意 支援方法例 ☐ 言葉で説明を加える。 ☐ 一つずつ順番に話す。 ☐ 覚えることは、しっかりと意味づけをする。	タイプ C→体得型 実際に体を動かして理解したり覚えたりするのが得意 支援方法例 ☐ 簡単な言葉で、分かりやすく伝える。 ☐ 具体物を使用する。 ☐ 手本を見せ体験させてみる。
---	--	--

参考：高山恵子・品川裕香『LD・ADHD・アスペルガー症候群 気になる子がぐんぐん伸びる授業』小学館（2006）



同じ質問項目でも、タイプがいろいろと分かれたと思います。それだけ、人によって学び方が違うことをまず認識することが大切です。

【自分の学び方を相手に求めてしまった失敗例から考える】



聴覚型のA君

「とりあえず、やってみると覚えるよ。」

やり方を一つずつ順番に、繰り返し教えてくれないと、僕は分からないなあ。



体得型の先生

A君が力を最大限に発揮できるのは、どのような学び方でしょうか。



教師が、自分の成功体験（学び方）が良いと思って、相手に合わない学び方で働きかけてしまうことがあります。児童生徒にとって、学び方を選ぶことができ、自分なりの方法を使ってアプローチし、考えることができる授業^{*2}が大切です。